

にいがたknow村プログラム

—地域とつながる・地域を学ぶ—

参加者募集

対象者

首都圏(茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び山梨県)在住の方
または「ふるさと新潟応援団」会員の方

※「ふるさと新潟応援団」については、下記問い合わせ先へご連絡ください

- ① キックオフミーティング(定員:50名)※参加費無料
 - ② know村の旅(新発田プログラム定員10名または魚沼プログラム定員10名)※参加費10,000円
- ①と②の両方のプログラムに参加できる方を募集しますが、
まずは「①キックオフミーティング」に参加してから考えたいという方も大歓迎です。

※参加費について

- ・「キックオフミーティング」は参加費無料です。
- ・「know村の旅」の参加費には、東京駅から現地までの交通費、宿泊費、保険料等が含まれます。
- ・「know村の旅」は、新発田プログラム・魚沼プログラムのいずれか1コースの参加になります。
- ・魚沼プログラムは計2回のknow村の旅を予定していますが、参加費は2回合わせて10,000円です。

(申込方法)

新潟県のホームページ「にいがた暮らし」ページから、必要事項をご記入の上お申し込みください。
<https://niigatakurashi.com/event/34853>

【申込〆切】

- ◆キックオフミーティング募集〆切:8月30日(木)
- ◆know村の旅募集〆切:9月18日(火)

<https://niigatakurashi.com/event/34853>

【問い合わせ】

新潟県 総務管理部 地域政策課(担当:関、瀧澤)

Tel:025-280-5095 / e-mail:ngt010130@pref.niigata.lg.jp

〒950-8570 新潟県新潟市中央区新光町4番地1

「にいがたknow村プログラム」は、新潟県が企画し、実施をにいがたイナカレッジ((公社)中越防災安全推進機構)に委託して行うものです。

まずは地域を訪れて、ステキな人たちとのふれ合いから始めるのもよし。

地域に軸足を踏み込んで、地域活動に関わるのもよし。

自分のペースにあった地域との関わり方を見つけてみませんか？

地域との“関わりしろ”を見つける

『にいがたknow村プログラム』始まります。

地方で活動したい。地域との関わりを持ちたい。

だからと言って、移住までは考えていない。



新潟県 地域政策課

にいがたknow村プログラムとは

にいがたknow村プログラムは、地域との“関わりしろ”を見つけるプログラムです。

- ・ふらっと遊びに行ける地域がある。いつでも迎えてくれる人がいる。そんな第二のふるさとを作りたい。
- ・都市部に住みながら、現場で地域のことを学びたい。
- ・地域の活性化に関わりたい。地域の役に立つことをしたい。

にいがたknow村プログラムは、そんな想いを持つ都市部で暮らす皆さんと、新潟県内の地域のつながりづくりを応援します。

プログラムの概要

詳細はホームページ (<https://niigatakurashi.com/event/34853>) でご確認ください

キックオフミーティング

9月2日(日)14:00~17:00 場所: the C (東京都千代田区内神田1-15-10地下1F)

(参加費無料/定員50名)

都心に住みながら地域とどのように関われるのか、みんなで一緒に考えてみませんか？

地域との関わり方を考える『にいがたknow村プログラム』キックオフミーティングを開催します！

「関係人口をつくる」の著者で、各地域の取組を取材されているローカルジャーナリスト・田中輝美氏をお招きするほか、東京から新潟の地域活動に関わる実践者たちからは具体的な地域との関わり方をご報告いただきます。また、新潟の農村の現場からは集落の父ちゃん達も参戦。まずは気軽な気持ちで参加してみてください。アットホームな雰囲気現場の皆さんのお話を聞いてみませんか？



14:00~14:05 オープニング

14:05~15:00 地域との関わり方スペシャルトーク

「自分にあった地域との関わり方を見つけよう！」
—田中 輝美氏 (ローカルジャーナリスト/
「関係人口をつくる」著者)

15:00~15:45 東京→新潟 地域で活動する実践者トーク

(実践者)
—鳥山 仁氏 (新潟県小千谷市岩沢地区)
—染谷 知良氏 (新潟県長岡市・十日町市)
(モデレーター)
—井上 有紀氏 (にいがたイナカレッジ)

15:45~16:10 地域とつながる『know村の旅』のご紹介

(集落の父ちゃん達)
—井伊 博人氏 (夢づくりいたやま 代表)
—横山 正樹氏 (元気すもんプロジェクト代表)

16:10 クロージング

16:15~17:00 ティータイム

(ゲスト、実践者、集落の父ちゃん達との交流)

【ゲストプロフィール】

田中 輝美氏 (ローカルジャーナリスト)



島根県出身。山陰中央新報社入社後、報道記者として、政治、医療、教育、地域づくり、定住・UITターンなど幅広い分野を担当。琉球新報社との合同企画「環(めぐ)りの海-竹島と尖閣」で2013年日本新聞協会賞を受賞。2014年秋、同社を退職し、フリーのローカルジャーナリストとして島根に暮らしながら、地域のニュースを記録、発信している。いま話題の「関係人口をつくる」の著者。

にいがたknow村の旅

新発田プログラム (定員10名/参加費10,000円)

『稲刈り体験に笹団子作り、日本随一の月岡温泉を満喫』

新発田(しばた)市は、東京から新幹線で2時間。新潟駅から40分。おいしい農産物や海と山の自然の恵み、良質で湯量豊富な温泉などをはじめとする魅力にあふれるまちです。新発田市街地から少し離れた緑豊かな農村集落を訪問し、地域のお父ちゃん・お母ちゃんたちとの交流を通じ、新発田の魅力をもっと知ってもらうために何が出来るかを一緒に考えていただくのが今回のプログラムです。

10月6日(土)・7日(日)

「コシヒカリの稲刈りと笹団子作り体験で新潟を満喫！」



新発田市の米倉集落と板山集落を訪れ、地域の方と一緒に新潟名物の「笹団子」作りや、とびっきりおいしいコシヒカリの稲刈りなどを体験。宿泊は「もっと美人になれる温泉」で有名な月岡温泉。あたたかな心、あふれる自然、豊かな食など、新発田をそのまま100%満喫する旅。

どんなところが楽しかった？新発田のアピールポイントは？また来たいするには？などなど...外からの視点でアドバイスしてください。「帰ってきたくなるまち新発田」を一緒に考えましょう。

新発田ってこんなところ

今回のプログラムの舞台は、新潟県新発田市。江戸時代には十萬石の城下町として栄えた歴史と文化、全国的にも有名な月岡温泉があります。コシヒカリ稲刈り体験を行う板山集落は、誰がいつ行っても「よきたねす」って温かく迎え、世話を焼いてくれる。毎年、多くの学生さんや地域外の方々が、第二のふるさととして通ってきてくれます。板山集落は年間を通じ、田植え、春祭り、稲刈り、塞ノ神など四季折々の行事を準備して、いつでも皆さんの帰りを待っています。



魚沼プログラム (定員10名/参加費10,000円)

『守門を発信する“直売所OPEN”プロジェクト』

魚沼市守門(すもん)地域では、H31に住民グループが小さな直売所をOPENします。それに向け、H30秋(10/27・28)に直売所をプレオープンする予定。地域にあるどんなものが商品になるのか？どんな商品だとお客さんは喜んでくれるのか？魅力的なお店って何だろう？そんなことを地域の人たちと一緒に考えて、直売所を盛り上げるのが今回のプログラムです。

10月27日(土)・28日(日)

『守門地域と生産者を巡る旅』



守門地域を訪れ、直売所を立ち上げる地域活動グループ『元気すもんプロジェクト』の活動現場や、今回のテーマとなる直売所の現場、そこに関わる生産者の方々と訪ね、地域の現状を学びます。この日は、直売所のプレオープン。実際の運営を見ながら、H31春のオープンに向けてどんなことが出来るのかを一緒に考えてみます。

魚沼市守門地域

今回のプログラムの舞台は、魚沼市守門地域。ご存知魚沼産コシヒカリの産地です。守門地域は、秘境路線として人気の『JR只見線』が走り、地域内には年間1万人以上が訪れる文化財『目黒邸』などがあります。地域活動グループ『元気すもんプロジェクト』では、目黒邸の前にある空き店舗を使って、H31年春に直売所をOPEN予定。現在はH30秋のプレオープンに合わせてワークショップを開催したり、地域の商品探し、商品開発などの取組を行っています。



「地域で活動したい」
「地域貢献したい」
そんな方におススメ！

【東京】マルシェで商品と地域のPR@東京



現地調査を踏まえて地元商品を厳選し、都内のマルシェに出展！実際にみんなで守門地域の商品を販売してみよう！

【守門】直売所のお店づくりの旅



マルシェでの売れ行きなどをフィードバックしながら、お客さんにとっても、地域にとってもwin-winな直売所を実現するために何が必要なのか、みんなで考えましょう！